明治四十三年五月十五日（日曜日）　第百五號（一）

京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙（一枚金二錢▲一ケ月前金拾五錢▲三ケ月前金壱圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢）
定價
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金（五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）
廣告（一行一回金
發行兼編輯人　高木久馬
印刷人　松久神一郎
京城西門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

雜錄

内外應酬

記者

（近藤、市原、石川三氏の演說）
（石川半山氏の演說（承前））

氏の演說は實に聽きもの であつた、記者は氏の演說を餘り面白く感じなかつたに其場限りの聽き捨てにするに忍びない。爲めに實際問題の紙上に於て結言代りに市原、近藤兩氏の演說に對して就中を挑したのであることを男らしく白狀して置く、處で氏の演說は大谷川の急流の如しと評した人があるが、成程聞る聽きも往るが、記者は氏の演說を眞に傾聽したのであつたが、氏の舌鋒は甚だ滑かである、而して心は甘い舌鋒の良きに賺かされてウンと參つたら後は胃散を奉る臥耽りになるのである。

昔の人は牡丹餅で頬を殴られることを決して苦しくは感じなかつた、今の人も父親のやうで無い怜悧者ぞと云はるゝことを以て侮辱と爲ないのである、眼線江の大工事を供へて筆を突つけられた神戸鐵管理局長大屈氏は私かにポケットに胃散を探るに及ばなかつた、といふのは「管理局長が工部大學を卒業した」といふクミチンキを交せたからである、之れは子に對する愛を利用したので無くて、同じ心の、昔に對する千萬の謝を以て按配したのである。

安東縣の茶葉や、鴨綠江材や、撫順炭や、鐵きも設き去つて眼に以て甘いものであつた、人は彼の樓な問題を以て解たるとも決して鼎立てぬ、實業問も解うであつたに相違ない、何しろ氏が自己の牡丹餅と見る處を以て頬を殴つたのだもの、又北京に於ける外人が軍艦の注文を引請けんが爲に用ゐる醜手段や、買官費を投じての賦引や、是等は褒めても貶しても損を招かぬ問題である、即ち子を褒めることを忘れて其の逸の呼吸は得たものであつた。

去りながら余り多く食へては胃散の必要を生ずるは前記の通りである、何故なれば、腹を「外の内」とせねが氏の立場で、又成る限り量の飽滿を强ひるからである、但し胃散の準備は氏に無かつたのである、勿論氏は胃散の準備までしてかゝるべき筈は無い、斯る場合は唯尊ら口腐りの好きな獻立てを續べば足るのであつた、氏の演說は實に甘いものであつたが、今一度胃散の準備をされた氏の御馳走に預りたいものである（完）

今後の天候

京城測候所　日詰技手

本月に入り低氣壓の發生なり頻繁にして二日東海より西國沖を進みしもの は廣島に百十五粍、八豪雨を降らし又五月雨甘九州西部に滯留せしもの 上關、岡山、六十四粍、釜山に於ても前二十二粍の降水を見たりとも韓國中部以北は殆んど十數日に至り殆んど降雨を稱すべきものなく晴天にして層積雲を以て蔽れ日射を防ぐるも濕度少なき爲め蒸發量割合に多く日没迄雲量四散し晴、結霧を以て漸く補足されるも饒多と云ふを得ず尚本年一月より降雨月に至る雨量は合計九十二粍七。雨量は合計九十二粍七。昨年に比し五十六粍。寒。又平年に及ばざれば目下植物、成長期殊に果樹蔬菜類中には多少の影響あらんかと憂慮するものあり。

扨り聞くに尚北鹽細鮭するならんかは瓜類の發育を稍遲緩らしひと虞があるのみ。

然れども本日午前六時の天氣圖に依れば東方面の氣壓漸次下降、兆候を示し降雨の期も將に近からんと信ず（十三日午前十時）

地方通信

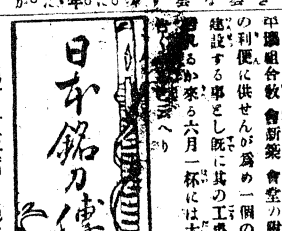
▲平壤通信

▲渡邊高等法院長滯壤中の同氏は三裁判所の視務を終了し同所員全体を一堂に會して熱篤なる訓示演說をなし夫より中村旅團長、憲兵分隊、若松理事官基他を往訪し尚は水島院長其他の案内にて新建築中の裁判所及び官舍を實見し斯くて十一日朝七時半四人担ぎの轎にて憲兵隊を隨へ憲兵巡査護衛の下に平壤を發し成川郡方面に向ひたるが來る十五日再び當地に來り翌十六日朝更に新義州方面に向け出發すべし

▲小學校建築の件　民團役所か舊旅團長官舍を譲り受け尋常高等小學校雨中体操場及び教室と爲すべきことは已に昨年中の民會に於て決定したるが右は四月三十日代金支拂濟となり目下右家屋の設立場所に就て取調べ中なり教室は其の西方面に建てらるべく地均等は早急終了せしめ來月中に竣成せしひべき豫定なり

▲京義線改良工事　京義線改良工事は既に着手したるも目下猶一般に於ける準備工事中にして料の蒐集用地の移轉等につき努めて取急きつゝあり實地の工事に着手する猶數日間後なるべしと云ふ

▲公會堂の建設　平壤に講話、演說、義捐會、茶話會、其他の集會に必要なる機關の皆無なるは何人も不便を感ずる所なりしが當地の和田良助氏は道廳平壤組合敎會新築會堂の附近に是等の利便に供せんが爲め一個の公會堂を建設する事とし既に其の工事に取掛りつゝあるが來る六月一杯には大体落成を告ぐべしと



第百十三席　邑井一講演

津田近江之守（十七）

直助は猶はも一心不亂に修業をして居る工台が、何うも仔細があるらしいと思つたから、或時津田近江守助廣に丁度春先で窓の障子へ日があたつて梅の枝が寫つて居る、もう雪もなくなつて大層暖かいので、四疊半の塵敷で茶を飲みながら「アノ親方さん何でございます」助「ハイ」と呼んで來て何用でございますか」直助「お勝やー」女房の れ勝が來た直助の樣子を見るに、何うしても唯の奉公人ぢやアない、何か仔細あるらしいと思ふのだが、一つ此處へ呼んで今日はユックリ話を聽いて見やうと思ふが今日は天神樣のれ祭で仕事が休みだとの事で直助一人丈けは何處へも參らず二階で何かして居ます、眞個に感心でございますねわ」助「然うか兎に角呼んで來い、女房は梯子段の處へ來て」直助「女房さん何でございますか」「親方さん何の御用でございます」助「ナーニ他に」直助「アノ親方さん何でございます」助「ナーニ他で御親切に有難う存じます、實は私は播州赤穂浅野内匠頭樣の御家來岡島彌惣右衛門樣と仰しやる方に……子供の時分から兩親に死別れまして、岡島樣に手許に召使はれまして成長し一人前の人間に致して頂きました其旦那樣が何の御用でございますか」直助「イヤ然うでない、た前が一生懸命になつて居る工台、夫れに た前は知らないが私が夜中に火の用心が惡いから、時々二階を覗きに往く、星敷を二廻り見廻つて其序に、ソッと二階へ上がつて見ると、外の野郎はグウ〜と鼾をかいて居るが、た前は布團の上へチャンと坐つて、何だか紙へ書いたものを繰り拡げて居るが、何うも變だ〜と思つて居たが、一体彼は何だい」直助は本當に涙を流して「ヘエ親方さん誠に相濟ません、夫れまで御覽になつたならもう隠すのも失禮でございますから申上げます」直「オ、師となり弟子となつた以上は、何事も隠すにやアあるまい、次第に依れば相談に乘つてやらうと思ふから尋ねるんだ」直助は暫くホロ〜と涙を流して「何から何まで御親切に有難う存じます、實は私は播州赤穂浅野内匠頭樣の御家來岡島彌惣右衛門樣と仰しやる方に……子供の時分から兩親に死別れまして、岡島樣に手許に召使はれまして成長し一人前の人間に致して頂きました其旦那樣が何の御用でございます」助「ナーニ他で御親切に有難う存じます、實は私は播州赤穂浅野内匠頭樣の御家來岡島彌惣右衛門樣と仰しやる方に……子供の時分から兩親に死別れまして、岡島樣に手許に召使はれまして成長し一人前の人間に致して頂きました其旦那樣が何の御用でございます」

シガー、ブドウ酒、ガレット、シャンピンテー、洋菓子、果物カン詰類衣ウヰスキー、キリンビール、タンサン

鉚小賣

歐米雜貨清酒食料品洋煙草類金銀屬美術品

直輸入商 京城本町 二丁目 辻屋 本店電話三六六 支店電話三六六

東京電報

▲高等學校短縮

教育會議に於ける專門學校限は從來の如く五ケ年と爲し校は二ケ年半とするに修正が右半ケ年の短縮は不便不利らざるを以て二年に短縮すべ意見教育會に勢力を占む(十二)

▲聯絡會議の應援

鮮都に於て開會中の日鮮聯絡會議は田中鐵道部長の れる旨日本銀行に電報ありたり(同上)

▲墺太利の觀光團

利觀光團一行昨夜入京墺太の私宴に重立たる數氏列席一行は本日光に赴き明日再び日箱根、靜岡を觀光十九日新發し西比利亞線にて歸國の途べし(同上)

▲岡部法相の巡視

大臣岡部長職子は來日頃京九州各地の裁判所監獄の視察べし(同上)

▲特殊銀行の調査

來大藏省に於て着手せる特殊銀行の調査は議會開會委員不足止せるが又々其要を認め大和歌山、兵庫の各農工銀行爲しつゝあるが更に全國農銀行の調査を爲し尚ほ進んで一般査を行ふべし(同上)

▲白耳義勅使の出發

勅使コブイチ男は昨午後九敎賀に向ひ露國淺船に搭乘陸西比利亞線にて歸國の筈(同上)

▲辯護士會長の選擧

士會は本月下旬會長選擧るが例によりて競爭盛んに會派に磯部四郎、戸水寛人派は菊池武夫、鳩山和夫氏に推し競爭漸く激甚ならん(同上)

▲眞野學務局長出發

學務局長眞野博士は本日新歌の途に就く(同上)

▲御還暦と地久節

二十八日は恰も我が皇后陛十一御誕辰の當日に相當するを以て宮中にかけては當日還暦の御祝を一層壯厳に擧行相成る趣きにて內外臣僚數百名を御招きあり盛大なる御宴を開かるべしとなり(十四日)

▲伊博と出品勸誘

伊博利萬國博覽會事務總長必得鶴見書記官は各地商工業家の該博覽會出品に關する心得のケ條說明旁々出品勸誘を兼て近日各地府縣へ出張すべし(同上)

▲官鐵營業の成績

去月下旬の官鐵營業成績は前年同期に比し二七六四〇七圓を增加せり(同上)

▲印度王の入京期

印度バロダ王は今十四日午後八時三十分新橋着入京すべき事に變更せられたる旨其の筋にて聞と(同上)

▲鐵道速成の調査

二十六議會を通過したる鐵道速成建議案は當局者も民意の存する處を認め臨時鐵道建設調査係を設置すべしと(同上)

▲平田內相ご本願寺

平田內相は明四十四年四月見眞上人六百年紀念祭執行に歟き此の機を利用し耕地整理の標本其の他の資料を蒐め博覽會樣のものを設置せん計畫な

▲川上總領事の經過

川上陸軍實總領事遼陽后引龍中の處此の程快方に赴きたるを以て近く任地へ向出發する筈なり(同上)

歐州電報

▲各皇帝の參列期

獨逸皇帝陛下には英國先帝御大葬參列の爲め本月十九日倫敦に向はれ希臘國王には同十二日倫敦に向はせらるべし(十四日)

▲先皇后の御令旨

先后アレキサンドル陛下には國民に令旨を賜ひ卿等はよろしく先帝に倣したると同樣王の心を以て新皇帝に仕ふべし(同上)

地方電報

▲赤十字社臨時總會

昨日赤十字社大會を開き出席者三百余名內韓人八十余名新入會者二百余名にして非常の盛會を極めり(十四日平壤發)

雜報

赤十字社臨時總會

日本赤十字社京城支部臨時總會は既報の如く十八日午後三時憲兵隊構內に於て左記大第書の通調印するとなれり

一、臨時總會次第書

一、開會(爲替竹を以て信號す)一、招待員、社員一同式場に整列一、奏樂(君が代、韓國ゴ歌)一、支部長式辭一、總長告辭一、支部狀況報告一、社長祝電朗讀一、石黑常識講演一、來賓祝辭一、支部所屬社員總代答辭一、日本赤十字社萬歲三唱(右式畢て模擬店會集開始

注意 一、當日社員は社員章佩用有功章併佩のこと一、出席者は憲兵隊比を見ざる處なれば今度內部衛生局所管となり從來の建物に大改築を加ふると同時病室を新設する他萬般の設備を完具し約二百名の患者を收容患者には虎疫は固より一般の流行疫一切ゲ收容すべき筈なりと

●忠南の旱害と救恤

忠清南道庇仁郡及舒川郡は昨年の旱害により飢民途に充ち惨狀名狀すべからず現に兩郡の飢民戶口は

	戶	飢民
庇仁郡	三七九	一、三七八
舒川郡	四二一	一、四九〇

を見たるを以て同郡にては地方費より三百五十圓五十錢を支出して救恤費に充て又庇仁郡に在ては有志より二百八十六圓醵出して救恤せりと云ふ

●警察署增設と警部

本年度に於て十七ケ所の警察署を增設すべき結果警部に欠員を生じたるを以て先般施行せし警部試驗合格者左記十名を警部に任用せり

小柳英雄、笠間泰男、細谷淺吉、牧田三夫、松島英彦、弓削熊太郎、白石保成、石崎梅次郎、鎌倉小一、木佐貫手之助

●特別社員章の授與

來る十八日京城支部總會に際し特別社員永宜君李俊鎔邸下は有功社員に學部大臣李容植氏外十數名は特別社員に推薦同日式場に於て石黑男爵より有功章特別社員章を授與することなれり

●順川の暴民と伊川

江原道伊川郡支石場に地方に於ける大市場なるが同地は警察憲兵等の所在地を距る數里の處にあるを以て暴徒等の出沒多く且つ近來は彼の順川暴民の逃れ來りたるものありて盛に土民を煽動しつゝある由某歸客は語れり

●學校寄附金の協議

地方散在の私立學校が寄附金募集に關し往々良民を苦しむる弊あるを以て學部は其許可程度を法定し置かんと欲し限本同部書記官昨十四日內部に出頭して協議する處ありたり

●露國領事館の新設

露國政府は露韓往復の頻繁と貿易の發達とに顧み近々北韓城津に領事館を新設せんと目下其適地を撰定中なりと

●聖神女中學校設立

佛國西敎會にては女傳道師養成の目的を以て今般同敎會內に聖神女學校なるものを設立せんとて企畫中なりと云ふ

●聯合野遊親睦會

京城民團役所吏員及び同所屬學校職員等の組織に係る聯合野遊親睦會は今十五日午前十時より麗宮に於て親睦會を開る爲め一日の消遊を試みる由なるが當日は民會議員其他新聞記者等も出席すべしと云ふ

●韓國銀行の招宴

韓國銀行總裁市原盛宏氏は目下同行支店長出張所主任が右半ケ年の短縮は不便不利らざるを以て二年に短縮すべ

●大韓每日の押收

十四日發行の大韓每日申報國漢文第一千三百八十六號國文第八百六十三號は治安妨害の廉に共絕勝の區を占め殊に熱鬧の地を避け原盛宏氏は目下同行支店長出張所主任たる杯流行病部養し地としては多く其の來集し居れるを機とし來る拾六日午後六時より花月に官民の重立ちたる者新聞記者等を招待し盛宴を張るべしと

●大韓每日の押收

十四日發行の大韓每日申報國漢文第一千三百八十六號國文第八百六十三號は治安妨害の廉に

社會小言

▲昔は犬公方犬を愛す、百姓犬を呼ふにれ犬樹を以て戶々數犬を養ふ、奥王細腰を愛す、餓死する者三千の宮女に止まらず、上の好む所下迎合して風を爲す、之れ常なり。

▲故寒畝公の統監たるや公の嗜好に伴なひ盞酒高談は流行を極めたりき、而かも公が清廉の風は一世を掩よて彼の臺閣の初期に於けるが如き彼の樣太に於けるが如き呶吐を僅より的の醜聞は一も起らざりき。

▲藤公は清廉の士を愛せり、故に公に接近せるの士は概ね眞實清廉の靈にして、偶除外はあるも之とて清廉を粧ひたるの靈なり。

▲西湖先生緑泉亭の主となるや春畝時代の夫れと大に趣を異にす、弄花、女謁、暴食、亂坐、之れ先生の好む所而して侯人寵商爭つて醜を穢汚して近づく、一代の良風美俗之が爲に壞れ、人亦た自己の清廉を危險に感ずるに至る。

▲西湖先生の政治上に於ける功過は言はずもがな、君が緑泉亭の主人として良風美俗を壞ひたるの過は如何、觀じ來れば之丈にても君は退職に値す、社會十字軍の起らざりしは君の幸ひなり。

▲新たに統監となるべき人は誰か、政治財政、外交上の手腕は素よりなり尙其上に高き人格を要す、宇島統治の長上に韓人社會の師は西湖先生の如き人たらざるを要す。

▲今朝在東の友人より龜井戶の藤花四ツ目の牡丹の寫眞數葉屆く、之れ友人の自撮せるものなり、藤花や伊藤家の紋所、牡丹や故博文公の綽名、共に春畝先生に縁あり、藤や牡丹や時來れば咲く藤公や然らず、高風を偲ばざらんと欲するも能はず。

人事

●澤田局長の招宴 十三日夜澤田地方局長は新任道郡主事二十五名を京城ホテルに招待して晩餐會を開催し橋井次官代理地方局員等列席したりと

●新任警部に訓示 松井警務局長は昨十四日新任地方行警部八名に對して訓示せり

●第六回自修會 十四日午後一時より內部警務局にて第六回自修會開會

●報記官の俳句會 遊谷學部書記官は十四日同好者を集め俳句小集を催す

景福宮の賣り拂ひ

(字佐川總裁の手廻し)

大院君の全盛時に經造せる景福宮も皇居移轉後空しく狐狸の巢窟に委せられ居れるが今回宮內府にては該王城を公園と爲さん爲め所在建物四千餘間を放賣する事となり去九日及十日の兩日に亘りて競爭入札を執行せり入札に參加せる日韓人約八十人を算せられたるが孰れの入札も該府所定の最定價格を下廻る事遠く遂に再入札を執行するの已むなきより擔任宮內府事務官は大に遺憾とし此較的算定價格に近接せる入札者十餘名を選び同府の希望を示めして此最定價格にて拂下を乞ふものあらば再入札の煩を省略し各其希望に應せんと宣したるに孰れも之に同じ一間十五圓乃至二十七圓前後にて全部賣買成立せり其內に歌き北井清三郎の名を以て其三分の二則ち千餘圓を拂受けたるものあり彼は東拓總裁字佐川男爵愛婿の姻家にして元來赤貧洗ふが如き靈なるが營利に拔目なき同府中將は昔時の榮華を顧れる該建物を買受くれば材木、石材瓦以外に如何なる利あるやらん知れず と垂涎し同人を籠りて落札せるものと傳へらるる夫れかあらぬか同人は落札決定するや否や直ちに車を驅便局に馳せ委細を在京中の同中將に電報せり此消息を嗅ぎ付けたる人々は今更ながら同中將の機敏なるに驚嘆し居りと(電通)

石黑爵巡回日時

男爵石黑男爵一行巡回日割左の如し

五月十五日 鎭南浦滯在(十六日)鎭南浦發、登二浦發午後三、〇〇分、黃海着午后三、五〇分、黃州着午後三、二七分、開城着午後八、一二分、十七日、開城發午後四、〇五分、南大門着午後六、五二分(藤田軍醫部長官舍宿泊)但滯車昇降は南大門のこと(十八日)午前統監府軍司令部訪問、參內謁見、午後(二時)京城支部臨時總會臨場(六時)軍司令官招宴(十九日)午前軍司令部術園司令部術成病院訪問(正午)軍醫有志歡迎會(午後)日本小學校バロタ公園、大韓醫院、工業傳習所參觀(六時)長官招宴(二十日)善隣學校生徒訓示及校務視察市內遊覽(二十一日)午前秘苑、博物館、植物園、景福宮參觀、(二時半)京城在住本社數名召集訓諭(二時半)婦人有志の爲め講話(四時半)總長招宴(二十二日)龍山發午前八、四六分、仁川着午前九、四三分各所巡回仁川發午後二、二五分南大門着午後三、四五分齊物敷迎會、午後七時)男爵招宴(二十三日)南大門發午前九、〇〇分、大邱着午後三、四八分、(二十四日大邱發午後三、五五分、三浪津發午後七、二〇分、後八、四〇五分、(二十五日)馬山着午後三、四〇分、三浪津發午後五、三三分、三浪津着午後六、三〇分

●石黑男の平壤視察

石黑男爵は藤田副總長同伴木內救護課司令部附最上二等主計正十四日博任すり帶新義州理事廳に小憩市街の狀況を一覽し午前八時出發鎭南浦の社員警察官小學校生徒等の見送を受け午後二時四十一分平壤に着す旅館長以下官民多數の歡迎を受け旅館柳屋に小憩の上直ち松理部官等の案內にて先づ乙密臺に到り盛驛隊長の說明にて牡丹臺、船橋里等二十七八年激戰の情況を聽取し歸途大同江を船にて下り一度歸館小憩の上笑陽倶樂部に於ける官民六十餘名の歡迎會に臨席中村旅團長歡迎の辭に答へて十七年後の今日平壤の發展に對する感慨談あり一同歡を盡て散會せりと

●全羅沿岸漁業盛況

全羅南道に於ける漁況は西岸蝟島近海は今や漁期に入り既に客月十五日以來約二百隻の漁船出漁しつゝありたるが漸次增加して昨今五六百隻に上れり漁獲物は石首魚、鰕等にして木浦警備所は法聖浦を根據とし警備船を派して取締り居れり南岸巨文島方面に於ても漸次出漁船增加し盛んに漁業に從事し居れば麗水警備所にて之れが警備船乘組の警師を派して之れに當らしめたれは一般漁夫は歡喜し居れりと云ふ

●軍司令官巡視誤聞

昨紙大久保軍司令官の北韓巡視を傳へたるも右は大邸が本月末頃西韓を巡視さるゝ噂あるよりの誤報なりといふ

●谷田司令官の歸東

去十三日谷田中將は柳原少將と同伴三浪津より馬山に出て十四日午前八時三十五分發列車にて釜山に向ひたりと

●警視廳の署長會議

警視廳にては昨十四日午後一時管內署長を召集して署長會議を開き各課長及び齊木主理等も參列したりと云ふ

●大久保大將の招宴

大久保軍司令官は來る十八日石黑男爵を大觀亭に招待し清宴を催さるゝ由なりと云ふ

●石塚長官の溫陽行

石塚長官は中山書記官二通理事官と共に十四日夜溫陽溫泉に赴き十五日歸京

●山口高商生の來京

山口高等商業學校職員生徒八十名は修學旅行の途次十四日入京せし筈なり

●樂師川少佐歸任 谷田憲兵司令官に隨行北韓地方視察中なりし憲兵隊本部高級副官樂師川少佐は十三日夜歸任

●竹內副官の下仁 今十五日仁川に於て在仁軍人團總會を開催せらるゝ由にて軍司令部より竹內副官臨席せし筈

●岡本參謀の出張 岡本軍參謀は十四日朝公用にて大邸に出張十五日歸任

●韓國銀行の招宴 韓國銀行總裁市原盛宏氏は目下同行支店長出張所主任が右半ケ年の短縮は不便不利らざるを以て二年に短縮すべ

●大韓每日の押收 十四日發行の大韓每日申報國漢文第一千三百八十六號國文第八百六十三號は治安妨害の廉に

●最上主計正歸任 北韓出張中の軍司令部附最上二等主計正十四日博任すり帶新義州理事廳に小憩市街の狀況を一覽し午前八時出發鎭南浦の社員警察官小學校生徒等の見送を受け午後二時四十一分平壤に着す旅館長以下官民多數の歡迎を受け旅館柳屋に小憩の上直ち松理部官等の案內にて先づ乙密臺に到り盛驛隊長の說明にて牡丹臺、船橋里等二十七八年激戰の情況を聽取し歸途大同江を船にて下り一度歸館小憩の上笑陽倶樂部に於ける官民六十餘名の歡迎會に臨席中村旅團長歡迎の辭に答へて十七年後の今日平壤の發展に對する感慨談あり一同歡を盡て散會せりと

●理事官民長歸任 松本大浦理事官及高根民長は十三日飯任の途に就けり

●副理事官の歸任 警內巡視中なりし橋本仁川理事官代理は十三日飯任す

▲治外法權▼

來る二十日を以て暴行相成る故コドワード陸下の御親徳へは親書姻戚に當らせられる、歐洲大陸六箇國の元首と各國元首の代表者と多數の各國皇族とが會集せらるゝソウだ、我皇室の御代表者は伏見宮殿下で米國の代表者は前大統領ルーズベルト君だソウだ▲各國の元首及皇族方が身に大禮服を纏ひ勳章燦爛佩劍を手に提つて參列されなば遠からぬ故ゆきばかりに光る事であろう、併し其中にルーズベルト君だけは萬紅愛中綠一點のフロックコートであれば其氣高さは他を壓する力ろう、思ふ、序に言ふ英國總領事館では來る廿日に故陛下の追悼會を行ふソウだ、同胞諸君は萬障を排して參會すべしだ▲山口縣人會の機關として任ずる非實品の防長雜誌が來た、体裁內容チョット淋しくはあるが中々上品の出來だ、ドウカ雜誌三號の例に漏れる樣にシタイ 思ふに防長は雜誌としては見るに足るも、併し開化を奮行する精神に至りては決して嘉みすべきのにわらずだ▲藩閥時代は知らず、今は山口だ、廣島だ、熊本だ、大分だ、福岡だ、大阪だやれ何々府縣だと區別をたてることが間違つた話だ、昔の藩とは違い今の府縣は只地方稅の負擔代議士選擧との區劃に過ぎぬ、六十餘州の同胞は全く一團だ、何の必要あつて府縣別を以て黨を樹て派を爲すか在韓同胞中殊に京城在住の我同胞中數多くの何々府縣人會があることは事實だ其多くは春秋二季に酒を呑合つて故山の話をする位に過ぎぬ、排し記者はソレにさい餘り贅成せぬ、何となれば酒を呑むにも單衆をするにも府縣別を以て雌伯を爲すことは全く無意義だからだ▲長州の先輩桂侯の內閣は寺內以外に長人を挿たず、之れ同侯の六十餘州一團主義から來たのだ、之を知らずに在韓の防長人等が藩閥毛利公の「一矢」は折れ易く束ねたる十矢に折難しとの垂訓に背いて縣人區別主義を鼓吹しんとするは片腹いたきことだ▲大和民族は大陸に發展せねばならぬ、大陸發展には民族の一致團結が必要だ、縣人區別主義は發展の敵だ▲術生組合迫合會がゴタゴタして居るようだ、過日も當欄で言つた通り術生とはマヂメとなければならぬ術生組合を他の事に利用せんなぞは以ての外だ事だ。

名妓洗髮のれ妻(元)

▽豪傑でも頭さんも男

▽兩人が兩人ボンヤリ

▽其んな事とは知りませんでしたが、其手紙には大變な事が書いてあつたと共に、俺の足袋十足と頭ちゃん家の上下煎餅を送つて呉れとか、一度大坂へ來るが好い、來る時に電報を打てば弟子を名古屋まで迎ひにやらうなど書いてあつた夫れと**スツカリ**頭さんに**讀まれ**て了つたので、大變な事になりました▲**頭さん**は頭さんも、あんな豪傑と云ひますかね、水滸傳にでもある人か三國誌にでも出るやうな人でせう、夫れは〳〵言葉數の少い、何を私達が云つたつて分つてるのか分らないのか、腹の分らないほど云ばゝ大きい人なんですかね、一件の手紙を讀んだつて**知らぬ顔**をしてゐるのですから、私はアイ放心、そんな事は知らないわ、當ものやうに思つてると矢張少しは**調子**が**違**ふのね妙だわ、**豪傑でも男だわ**、夫れで初めの中はそのまゝ氣にも留めませんでしたが、此れは笑可しいと思つて多少氣にかゝつて來かゝつた時に、機が惡いね、市村が秋口になつて大阪から嫁つて來ました▲市村の顔を見ると何もかも私あ忘れて了ふのよ、其まゝ**フヤケ**て了つてね、頭さんに世話になつてゐて濟まないとは濟まないが、市村と遊びほうけてゐる、夫れが嵩じるとね、市村を花の家へ引つけて大阪から歸つて來ると久しぶり、他愛のない話なの、遊びに遊び疲て頭さんなんかの事は忘れてゐると、或夜今晩は頭さんが來さうも無からうと獨り極めに高を結つて、と花魁でつとやないか**遊んでゐますとね**、例のガラ〳〵と聞覺ゑのある**抱車**の轍の**音**、現を抜かしてゐても正体はあるわ、ハッと思つて飛起たのですがもう遅かつたね、其上多少れ酒を頂いてゐるから身体が活潑に利かない點もあるその内に頭さんが花の家の**一階**へツイと上つて來ましたが、市村が**マゴマゴ**してゐるのですから、幾何私しだつて何とも胡麻化しやうがない、對手が市村、すゝの、兩人が兩人ボンヤリしてゐると、**頭さん**は例の豪傑**知らぬ顔**して其夜は其まゝ何んとも云はないで歸つて了ひましたが、私は隨分氣を揉んだね、此れは困つた事が起つたと思ひましたものゝ、斯うなればもう〳〵腹が据つて了ひました、事は破れかぶれ、何うともなれと思つて、歸るといふ市村を自寮半分に引留めて其まゝフヤケロ〳〵つて遊んでゐたのですが、其間に三日といふ日が經つて了つた▲私は三日經たうが五日經たうが知らない、タガをはづして遊んでゐると、四日目に頭さんが來したねぇ

李在明公判雜觀

▽兇器に非ず善器也

▽檢事死刑を求刑す

▲休憩後の公判、十三日午後二時半引き續き開廷、呉、朴、金、李等の審問は一渦千里の勢を以て進行し金丙鍵に至り同人は李在明より同意を强ひられたるも聽せず爲めに在明より犬なりと罵られたるも遂に加擔せざりしとて強奪の自白を否認したり

▲**兇器に非らず**　塚原裁判長は李在明に對し其方が李完用殺害の際使用したる兇器は此れに相違なきやと問ひたるに對し在明は「否」**兇器に非ず**善國賊を殺す**善行**に**使用**したるものなり」と滿場の人を笑倒せしめたるは愛嬌とも云はゝ云ふべし

▲**伊藤檢事論告**　は嚴厳を極めたり曰く被告の如き田吾作が國家の利害を憤慨せなどゝは滑稽の沙汰なり在明の如き若し自ら稱するが如き天下の志士なりんには昨の證言を今日否認するが如きものに非ず心事の陋劣眞に唾棄に値す現に渠は李容九を殺害せんよりは完用を害する方世間のウケ宜しからんとて變更したりと自白せり要するに彼は虚榮心の結晶にして些の同情推重すべき所あるを見ず法の命ずる範圍に於て極刑に處せられんことを望むと左の如く求刑したり

李在明（死刑）金貞益（情狀酌量懲役十五年）金丙鍵（同上）趙昌鎬、李東秀（自下逃走中同上）吳復元、金龍文、全泰善、朴泰殷（各懲役七年）李應三（懲役五年）金業鉉、金履休、李學泌（各懲役三年）

而して決判は來る十八日と決定

組合設立詐欺師

米穀

▽性惡もなき韓米商

韓人米商金萬秀申錫晶等は組合を組織し其の肥料を得べく過般來中部琵琶洞に於て極力に集合協議中な

抱車の音

遊市村

頭さん

知らぬ顔

豪傑でも男だわ

調子が違ふ

兇器に非ず

善行に使用し

組合設立詐欺師

李在明公判雜觀

彗星益々接近

ハレー

▽尾の長さ一千六百萬哩

仁川觀測所に於ける昨晩の觀測によれば午前二時五十分彗星は未だ地平線下にありしも星尾は已に中天に達したりしが三時五十分地平線上に顯はれ其全容を觀望し得るに至れり尾の長さは三十一度以上に達し其の長さ一千六百万哩を超ゆゝれ實に我地球直徑の二千倍に當り五月廿日に於ける彗星と我地球との最短距離一千四百万哩よりも長し因に其の彗星は今後漸次出現の時刻後るゝに反し日出の時刻早まるを以て日出前に展望し難くなり五月廿日全く大陽と合し其の後は日沒に後れて西天に表はるゝなりと云ふ

れとくの意氣事

▽壯俳優綱立遇しの段

▽身の毛の悚立笑ひ振

當地掬翠樓の伸居に然るものありと知られたるれとくさんは意々近い内に同樓から暇を貰ひ書町か大和町邊に一寸した料理店を開業され剛柔樂橋方の御引立を希上奉らうと目下準備中の由なりとは誠に以て目出度い事で恐悦次第に存じ來る次第なるも扱夫れ丈けではれ朝肉に山葵のないと同樣氣の抜けた話でツマらないと酒落たい所だが同人にはれ氣の毒樣ながらツマもあれば山葵もなる事情をザット紹介せんに申惡き次第ながら御存じの通り同人は妻も繃紙もヤット人間並と云へば云はるゝ位の所なれば浮氣をしようにも敵手がないので此の事は諦めて居た所捨てる神あれば助けるかみの毛の抜けた女將れりゆうさんと愛澤正義が嬌曳のれ供は何日も此の腹心のれとくが勸める事となつて居たので其の度毎に何事のたはしまするかは知らねども羨ましさに涎を滴して居た、と話し代つて一方愛澤正義の屢巾著條熊太郎と云ふノツペリ男此れも女將と師匠の夫れを見て何がなし堪へ切れでありしにれとくがれ嬉を出して試ると何が扱て目の眩ひ程空腹の龍公言も云はずに御馳走になつた其の後と云ふものはれとくは一切夢中になり龍太郎が愛澤と共に日本へ歸つて居たのを呼び寄せて毒座の近所へ住はせ一切万事立て過ごして居る

退韓受命者の入京

▽馬山理事廳に於て

島根縣松江郡殿町士族梅原虎吉(三)は本月八日馬山浦理事廳に於て退韓命令のだが愈々れとくが料理屋の女將となれば輕ふ郎は無論宿のれ前さんとなり長火鉢を間に脂下がる寸法なるが左樣なつた日になつた晩はれとくがアノ恐ろしい歯を剝いてゲタ〳〵笑ふことかと思へは身の毛も慄立つ次第なりけり

女振り

木原牧師夫人

▽木原君は拾も日曜であるから此に至極本日は密接な關係を有せらるゝ木原牧師の夫人に一寸敬意を表することゝした木原君は旭町二丁目の京城教會の牧師で日本メソヂスト教會の京城部長である、牧師とか佛弟子とか云ふものは得て何所かに臭味のあるものだ蒙蒙の惡臭きは我慢が出來るが羊飼ひの羊臭きは我慢のなつたものでない、其の酷だしきものになると綿羊の裘を裝へる殘狠の如きがある、木原君には此の臭味と此の街氣がない、滾車の裡か何かで君の職業を知らずに話しでもして居ると牧師とは思へぬ程だ、ひら子夫人は東京四谷の產であると承知してゐる年は三十二か三だた見さんは一番上のが男で後は四人とも皆んな女孩さん、濱足に行けば夫人は五人の子持であるがれ嬶しいことには聞のれ二人は夫折られた、夫人曰く出來るのも出來るのも皆んな女だものですから外七に是意氣地がないと云はれますの、併し天意ですから詮術もありませんがホンニ少しは厭にもなりますよと、淡白した交際振りは引き締つた家政の れ手際と相俟つて純潔な家庭の主婦として申し分ない、れ服裝なども至極質素であるがれ子供衆は何日も綺麗サッパリと仕てれ置きになる、夫人が理財の才は天賦であらふ、過日中東京へ行つて居られたが二三日前れ歸りになつた筈である。

喧嘩ばつかり

福岡縣平民當時伊藤組軍夫石塚宵(三)は御成町に於て鄭昌化(三)と喧嘩毆打したる廉に西部署に於て拘留二十日に▲鹿島縣平民當時竹園町二丁目高橋方居住石工堀政次郎(三)は十三日南部賊明坊石中洞飲食店徐姓女(三)方に到り飲酒の揚句亂暴せし廉にて鍋隈分署に於て拘留十日に▲山梨縣平民當時南大門外荒井牧場雇人杉原常藏(三)は黄金町に於て韓人洪乙伊(三)と喧嘩し擲を以て腰部を毆打せし廉にて鍋隈分署に於て拘留三日に處せらる▲鹿兒島縣平民當時伊藤組軍夫濱彌四郎(三)は南大門驛裏手に於て飲酒歸途韓人浮浪者權在千(三)と突き當り口論の末棚を毆打したる廉にて西部署に於て拘留二十日に喧嘩の相手權は仲裁者裴善樂(三)の睾丸を蹴り氣絶負傷せしめたる廉にて檢事局に

今日の運勢

●珍說目覺鳥　猿　と題し一昨日の本紙に記せし主人公猿田ちかは十七歳の時より楠原の妻となり自身は看護婦を業し居りしが楠原は近來花園と云ふ無免許看護婦と出來合ひてチカを慢酷に取扱ふにそチカは堪へ難く遂に離別して目下南大門外瓦受橋看護會に勤め居るものにて破鏡業の內緣の妻となり居れりとは楠原の邪推に止まり事實無根

目と耳

●**喧嘩**　福岡縣平民當時伊藤組軍夫石塚宵(三)は御成町に於て鄭昌化(三)と喧嘩毆打したる廉に西部署に於て拘留二十日に▲鹿島縣平民當時竹園町二丁目高橋方居住石工堀政次郎(三)は十三日南部賊明坊石中洞飲食店徐姓女(三)方に到り飲酒の揚句亂暴せし廉にて鍋隈分署に於て拘留十日に▲山梨縣平民當時南大門外荒井牧場雇人杉原常藏(三)は黄金町に於て韓人洪乙伊(三)と喧嘩し擲を以て腰部を毆打せし廉にて鍋隈分署に於て拘留三日に處せらる▲鹿兒島縣平民當時伊藤組軍夫濱彌四郎(三)は南大門驛裏手に於て飲酒歸途韓人浮浪者權在千(三)と突き當り口論の末棚を毆打したる廉にて西部署に於て拘留二十日に喧嘩の相手權は仲裁者裴善樂(三)の睾丸を蹴り氣絶負傷せしめたる廉にて檢事局に

●**本日の日曜集會**　日の出町京城基督教會にては午前九時日曜學校同十時禮拜說教午後八時傳道說教あり演題は朝「深夜のゲッセマネ」米澤牧師夜「鄙惡觀」同牧師▲旭町四丁目日本キリスト教會にては午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教「樂人を呼び來れ」石原牧師午後八時より傳道說教「基督教の安心」同上

●**光松拍子の廢業**　偉大なる躰

麗と堅固なる品行と藝の達者なので流行に流行つた松葉亭の抱藝妓光松事唐津生れの樣眞樣野(三)と云ふ恐ろしい名前を持つた妓は過般此の度芙請負業者に落籍され二三日內に赤の飯を配つて芽出度く廢業する都合とは羨ましい

●**東洋日報活動寫眞**　東洋日報社は本月十二日より向ふ一週間東大門內光武劇場に於て最新式活動寫眞を一般公衆の觀覽に供し居れりと

●**五雲會例會延期**　十五日開催の筈なりし同會例會は英帝崩御に付御遠慮申上げ次週日迄延期せり

●**珍說目覺鳥**　猿　と題し一昨日の本紙に記せし主人公猿田ちかは十七歳の時より楠原の妻となり自身は看護婦を業し居りしが楠原は近來花園と云ふ無免許看護婦と出來合ひてチカを慢酷に取扱ふにそチカは堪へ難く遂に離別して目下南大門外瓦受橋看護會に勤め居るものにて破鏡業の內緣の妻となり居れりとは楠原の邪推に止まり事實無根

●**光松拍子の廢業**　偉大なる躰麗と堅固なる品行と藝の達者なので流行に流行つた松葉亭の抱藝妓光松事唐津生れの樣眞樣野(三)と云ふ恐ろしい名前を持つた妓は過般此の度芙請負業者に落籍され二三日內に赤の飯を配つて芽出度く廢業する都合とは羨ましい

●**東洋日報活動寫眞**　東洋日報社は本月十二日より向ふ一週間東大門內光武劇場に於て最新式活動寫眞を一般公衆の觀覽に供し居れりと

●**五雲會例會延期**　十五日開催の筈なりし同會例會は英帝崩御に付御遠慮申上げ次週日迄延期せり

●**歌舞伎座**　同座十五日の替り狂言は本村專門の毒婦劇「鬼の玉枝」全七幕にして重なる配役左の如し

石巻辰子（野村）夫人靜子（澤井）母か（石井）高島敬一（內田）刑事河原（寺田）馬鹿蝶太（桜本）野毛義吉（宮土井）伊藤正俊（渡邊）憲兵堀原（桃井）女醫國松、夫人石尾、尼海念實は鬼ノ玉枝（木村）

●**壽座**　中村歌若一座十五日の替り狂言は「勤王佐暮名右屋實記」にして重なる役割左の如し

渡邊大六（歌若）姉政女、愛妾靜枝（正三郎）妹蝶女、茶坊春齋（內匠之助）力丸松藤、花屋しめ（三之助）役人兵馬屬次郎、賓輪左近（若次）安部兵庫大橋主水（九十郎）百姓喜三郎（芝十郎）稻水傳後、山形屋六兵衛　大舍

▲**浪花館**　若遊三一座十五日演物は西の旅（若三郎）雪點（若明）宿屋の仇打（國三）向の伯母さん（笑三）親子茶屋（文藏）喜劇每ばん替り座員總出せんきの蟲（若遊三）大切所作事

今日の運勢

負傷器物損壞の恐れあり△四綠陰蔽なる日なり諸事徒勞多し農事鑛業は婚姻は損害受け易し相談出來る△五黃業務上に失策起らんとす婚姻は不和起り他人より煩害受け易し△三碧伊論見込違ひある日新事見合せの事

五月十五日舊四月六日八白先負庚辰閉△一白　親類多き日諸事控へ目にすべし遠失敗防ぐべし△二黑密閉には不和起り他人より煩効なし△三碧伊論見込違ひある日新事見合せの事

五月十六日舊四月七日九紫佛滅辛巳建△一白　隙礎多し金錢貸借調停婚姻養子の事談不利新事見合せの事△二黑開拓日なり仕宦就職受驗入學門探險調査を始むるに良好選失防ぐべし△三碧概して康寧の日なり但一勝惑說計の恐れあり△四綠　快欣の日大抵吉家庭近親に付き煩累あり婚姻養子の取極取組に適す△五黃　あり心の日なり只遲鈍に流れ易く虛浮閥色に傾き易し△六白　遠錯多し新事見合せ木の事建築土木の事に吉△七赤　改革整理調査を始むるに適す開店業婚姻入學門凶變離防ぐべし△八白　埒明かぬ日依頼相談契約談判に不良建築金屬の業務には良好△九紫　謹慎日なり鑛山金屬の業務旅行新事に不利丑寅の方位吉（三一館判斷）

退韓受命者の入京

女振り

喧嘩ばつかり

今日の運勢

廣告

日本赤十字社常議員男爵石黑忠悳氏の入京を機とし當支部臨時總會を來る十八日午後第三時元軍司令部好道園（現憲兵隊本部構內）に於て開催候條左記事項御承知の上御出席相成度候也

明治四十三年五月十一日

日本赤十字社韓國本部京城支部

（京城理事廳內）

追て詳細の義は理事廳又は民團役所に就き御聞合せ相成度候

一、當日社員は社員章佩用有功章併佩のこと

一、出席者は憲兵隊本部正門より入ること、又は白襟紋付のこと

一、出席者の服裝は側服、フロックコート

開業

代書仲介

今般小川法律事務所ヲ辭シ左記ノ處ニ事務所ヲ設ケ普ク代書仲介ノ御依頼ニ應シ可申候

京城本町一丁目理事廳前（株式會社）

林久米藏信託事務所

（電話六七三番）

寺井

事務員

ミュンヘンビールは

一名瓶詰にせる液體のパン

黑ビールに似て風味淡白アルコール分少なければ婦人にも飲み易く之を食前に用ひて消化を助け之を酒後に試みて心身を爽快ならしむ上戸下戸共に適する衛生的好飲料なり

大日本麥酒株式會社

現代漢城の風雲と名士

菊城謙讓校閲　細井吼崖著

洋裝全一册　定價（送八拾錢　郵稅金八錢）

鮮明なる各名士の寫眞版挿入す

本書は觀察警拔なる細井吼崖氏の筆になれる漢城政海の人物評論にして無比の朝鮮通なる菊地謙讓先生の校閲を經たり而して本書收むるところ太皇帝以下元老大臣、政治家等大凡五十名個々の性行陰謀功過は基より暗黑なる韓政海の裏面に忌憚なくメスを加へて縱橫に之を解剖し眼破せり殊に附錄として兩班の衰亡、漢城政海の現況、京城の沿革等刻下有要の文字あり。近者合邦問題起り對韓政策の一大解決を見んとしつつあるに際し苟くも朝鮮問題を讓するものは必らず座右に一本を供へざる可からざる近來の好著なり

發行所　京城本町二丁目　電話百四十五番　韓振書口座百十五番　日韓書房

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉强請負

永樂町二丁目通り　赤門　楪野工舍

美術牛乳帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり徳商店

五月十二日より向ふ一週間現金に限り聊か添物進呈仕候

移轉廣告

一 弊店儀從來京城南山町四丁目ニ於テ營業罷在候處江湖諸君ノ御引立ニ依リ日ニ増シ隆盛ニ趣キ候段厚ク御禮申上候隨ツテ從來ノ營業所ニテ追々狹隘ヲ感シ申候ニ付今般左記ノ所ヘ移轉仕リ候ニ付何卒舊ニ倍シ御引立アラン事ヲ偏ニ奉懇願候 以上

明治四十三年五月 日

京城明治町一丁目（漢城病院前）

營業品目

清酒 櫻花 醬油 味噌 淋

清酒 醬油 味噌 淋

ヒヤクタ 下總銚子 田中玄蕃醸 一手販賣

ヒヤクタ 上田 一手販賣

ホシダイ 永登浦 大華醸 特約販賣

アラタ 新田

サクラマサムネ 灘本店醸造

サクラマサムネ

サクラマサムネ

サクラマサムネ

コノハサクラ 石川八郎治醸 九重櫻 一手販賣

其他 麒麟ビール 清涼飲料水等

京城明治町壹丁目（漢城病院前）

山邑京城支店

電話 八四九番 振替貯金口座 七五番

媒津 灘魚崎 本店 山邑太左衛門

釜山幸町四丁目 支店 山邑釜山支店

電話 三〇一番

東京海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番

專務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

謹啓陳ば時下陽春の候大方の各位益々御清穆奉大賀候降而弊店儀開業以來無心こ勉強こを旨とし專心斯業に從事仕り居り候處幸ひ江湖の認むる處こ相成り日増隆盛に赴き候に付今般左記に支店を開設し本支店共獨特の技能を以て迅速に調進可仕候間多少に不拘御用命仰付被下度伏而奉願上候

支店開設廣告

美術、書畫、襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 桂萬吉 電話六二七番

同岡崎町 矢島織工所筋向 桂龍山支店 電話架設中

御披露

大世間隈に春めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粹樣方には一山超へて新町遊郭は解語の花に戯れ玉ふ年中の好季節になりましたので後塵の別れを惜み隨へらせ玉ふ粹樣方の御便宜を圖り今回美をつくし清を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サッと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粹をぬきたる一品料理に關へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと

○鰻 親子丼（上等三十五錢）（上等三十錢）

何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉强老舗御好みに應じ數々の內藝妓も侍らせて御興を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれば隔てなき御友達又は御家族打ち連れての御光來を偏に奉願升

大和町三丁目 電話 七三五

梅の家

韓國銀行

爲替取引先 日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、丸亀、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、鎮南浦、大連、澄陽、旅順口、奉天、營口、安東縣、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、上海、其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣

滋養強壯人參飴

世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍

京城本町三丁目 井口順生堂藥房

元祖發賣元

瑞東宮殿下御買上品 清國領事館御買上品 韓國皇城博覽會最優等賞

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏後の人は必ず飲め

本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ

◎特約販賣店 京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎮南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於て最寄にて御買求を乞ふ

京城本町二丁目（電話一九九番） 井口大藥房

京城大馬町 亀屋（本支） 青店

大上商店

特約販賣 味噌醬油製造元 漬物問屋 京城本町五丁目

自製 支那白菜漬 朝鮮菜葉漬 大賣出し

（電話一二五一番）

資本金一千萬圓 積立金五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

寢台乳母車

輕便机に限り賣出し中特に二割引にて御相談に應し申候

其他御注文次第何品に依らず引替便に「御送付申上候」

京城本町三丁目 澤安吉商店

擊劍道具 柔道着衣

刀劍類並附屬品 紡績製捕助繩 呼子笛 各國々旗 洋馬具一式 姿見鏡並塗替 空氣ランプ 花莚長尺物

新案特許 本箱兼用輕便机（一名五德机）

定價金五圓

屋ベタル圖 開キタル圖

錠

机脚ハ螺者ノ作用ヲ開閉ス

本立テ

右其名称ノ如ク机ニシテ本箱ヲ兼ネタル輕便至極ノ新式家具ニシテ殊ニ韓滿等ノ殖民地向トシテ至適ノモノト確信シ今回發賣致候間御試用有之度奉希上候

（尚詳細御申越次第説明書進呈可仕候）

京城本町三丁目 澤安吉商店

龍山醫院

本院は毎日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時各專門醫に診療を依頼す

但 松村和田雨先生の診療時間は午前九時より正午迄とす

龍山榮町文平山麓 龍山居留民團囑托

（電話六〇三番）

營業科目

印刷附屬品 印刷インキ 和洋紙類 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸藥料類 諸藥 韓官衙御用品調達

委託販賣

京城ランバーグ商會代理店 東京中外アスファルト株式會社代理店 京平代理生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

京博文館發行書籍特約店 京金港堂發行書籍特約店 釜山高野合資會社食鹽特約

本社 京城明治町二丁目（電話二〇三〇番）

出張所 京城南大門通二丁目 京城新橋通十丁目 釜山幸町一丁目

茶

移轉御披露

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

新茶大賣出し

今般業務擴張の爲め本町四丁目（日韓瓦斯會社東隣）に移轉致候に付十五日より仕候

京城本町四丁目 富士の里茶舗 電話九九七番

胃腸消化劑

澱粉消化ヂヤスタリン 蛋白質消化ヂグスチン

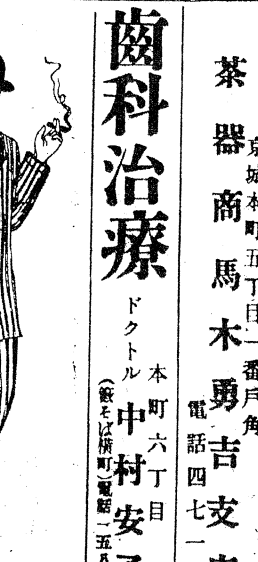
右は最近內地に於て發賣の醫用を來たしたる名藥喧々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候

錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入一瓶 一圓二十錢 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散錠一オンス入一瓶 二圓四十錢

各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏



京城光化門通 浅田洋眼店 店主 大島尊藏 （電話四四二番）

齒科治療

ドクトル 中村安子 本町六丁目（鍛冶橋横町）電話一五八三

金魚各種卸小賣

龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口） 陸軍御用達 馬木勇吉本店 電話三六四番

京城本町五丁目一番戸角 茶器商馬木勇吉支店 電話四七一番